

打ち水イベントで熱中症対策をお伝えしました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会の協力団体である東京都町田市では、7月27日（金）、打ち水イベント「打ち水日和inまちだ」を開催しました。

このイベントは、暑さ対策としての打ち水の定着や、それを通じての地球温暖化の防止や節電意識の啓発を目的として行われたもので、打ち水の効果がある同日の夕方、町田市庁舎正面玄関横で実施されました。

会場では、市民の皆様実際に打ち水をしていただき、その効果を実感していただきました。また、打ち水だけではない各種の暑さ対策、熱中症対策のPRも行いました。

打ち水をしていただいた皆様には、クールタオルや、塩と暮らしを結ぶ運動のウチワなど、各種の熱中症対策グッズをお配りし、熱中症への注意を呼びかけました。加えて、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』や塩飴もお渡しし、熱中症対策と塩の関係についてもお伝えしました。また、暑さ対策として同市が進める「緑のカーテン」とのコラボとして、ゴーヤの実も配布しました。

暑さ対策、熱中症対策には、打ち水や、クールタオル、ウチワの活用など、色々な手段があること、また、熱中症の対策には、水分だけでなく塩分も関わっていることを、参加いただいた市民の皆様にお伝えできたかと思えます。

